

医療生協駅前班 療養・健康施設を見学研修



合に対処する多様な施設が医療生協にあること、また国の政策が入

「TPPは大企業のため」米市民が反対デモ
—「しんぶん赤旗」を読んで 青山 崇

9月30日、12人がマイクロバス送迎で庄内医療生協の療養・健康施設を見学・研修しました。

退院後事情で在宅療養できない人を面倒みる老人保健施設「せせらぎ」、生活習慣病や健康づくりのメデイカルフィットネス「ヒジ」、

住宅型有料老人ホームの庄内まちづくり協同組合「虹の家こころ」、短期間通所の「シヨートステイふたば」、80余名の専門医師・技師が

いて全国から視察にもくるリハビリ専門の「リハビリテーション病院」などを見学研修しました。

高齢や事故などによつて心身に生じる不具

所・料金などに大きな影響があることなどを知った研修でした。しかしチヨット欲張ったようで疲れてしまいました。

日本のマスコミが、おおかた「TPPやむなし」論調の中、ワシントン在勤赤旗記者が、TPP本家？のアメリカでのTPP反対のデモを報じている。しんぶん赤旗9月22日付1面である。

「環境破壊者の権利を守るTPP」「優先すべきは大企業より勤労者、TPPはやめろ！」などのプラカードを掲げ、「NO! TPP!」とシュプレヒコールし、

74歳のリチャードさんは「TPPは大企業が自分たちの利益のために国際貿易を支配し、

各国の民主主義を破壊するもの」、大学生のシエイナさんは「日本で同じように反対するみ

なさんと連帯して、反対の世論を広げてTPPを阻止したい」と語ったという。

同紙9月29日付「潮流」はこの記事を受け「励まされました」として補強している。米国のナショナルセンター

「米労働総同盟産別会議（AFL・CIO）」が、大会決議で「働く人々を犠牲にして大企業の利益を増やすもの」などと呼びかけていること。首席農業交渉官

シデイキ氏は、任命前まで農業と遺伝子組み換え作物関連企業でつくる業界団体副代表で、就任後、日本の交渉参加は「重要な市場開放」などと喜んでい

るなどである。

限界村南瓜ひとつが草隠れ

工藤 博司



(画・加藤貞雄)

戦争中（先の十五年戦争）に食べ盛りを過ぎた私達の世代にとつて、南瓜は特別の食べもののひとつである。国内で生産される食糧は優先的に軍部に供されるばかりか、農村での働き手も軍隊に奪られ、食べものは極度にひっ迫する状態だった。主食の米に代って食されたのが、イモや南瓜であったがそれさえ口に出来ない日々も続いた。

畝区ぐらしたった私達は、山間部の寸土をも耕し、どこの家でも南瓜を植えた。南瓜は命の恩人とも言える。最近では、山間部を訪ねてもかつてのにぎわいはなく、草々の繁みに隠れるようにして実をつけている南瓜畑を見ると胸に迫るものがある。田んぼも荒れたままである。農業生産地をこれ以上荒廃させることは間違いなく亡国につながるだろう。

牛渡川

（うしわたりがわ・遊佐町）

大沼 浩

遊佐町吹浦の吹浦川河口に入る牛渡川は、流水の清冽（せいれつ）と、魚類や藻など生物相の豊かさで知られています。

牛渡の名は、最上郡鮭川村の牛潜（うしくぐり）と対照的です。こちらは奥羽本線と最上内川に沿っています。牛渡川は牛が徒渡（かちわた・徒歩で渡る）りできる浅い川で、牛潜は、牛が潜（か）つてしまいう深い淵のあるところでしょうか。

牛は十二支方位では丑です。子が北、卯が

東で、丑は北北東です。鳥海山のふもとを鳥海ブルーラインと並行して、牛渡川は吹浦から北北東の川筋を流れ下っています。

オックスフォードは牛津と当てられるように、フォードは渡り場です。昔は地方の牧場から都会の家畜市場に牛の群れが追われて来たのです。2020年オリンピック開催地に敗れたイスタンブールはボスボラス海峡に臨んでいます。ボス↓牛、ボラス↓渡るで、牛渡りの神話があります。

なお、先日の敬老会で、連載について「悪いけど（赤旗）より熱心に読んでいる」などの激励をいただき、この場をかりてお礼を申し上げます。

いだろうか（ここで失笑があつたと、ナンテ俺が心配してどうなるの思いはするが。



▼「軍国主義者」と「平和主義者」ではチグハグでしょうか。そう感ずるのは首相が考える平和とは次元が違うからなんでしょうかネー。

▼しかし隣国と教科書問題などで歴史認識を一致させる会合を提案しながら、ケンカを売ってるんでしょうか。

▼この辺りについて大統領は、隣国と仲良くする発言をするように、いつか苦言を呈していたんだが、これでは大統領も喜ばないでしょうヨ。首相や。

▼憲法九条を生かす方向こそ「積極的な平和主義者」と言つべきで、首相の言動は憲法で言う平和主義者ではありません。更に公務員の憲法擁護義務（99条）に照らしても一連の言動は首相失格です。

（石川）